

平成 26 事業年度

事業報告書

公益財団法人周南市ふるさと振興財団

I	市民が輝くふるさとづくり	
1	コミュニティ（地縁型）	2
2	市民活動（テーマ型）	10
II	ものからひとへのふるさとづくり	
1	都市と農山漁村の交流	16
2	食農・食育	21
III	明日へつなげるふるさとづくり	24
IV	中山間地域振興プロジェクト	35
V	庶務事項	36
	附属明細書	39

平成 26 事業年度

公益財団法人周南市ふるさと振興財団事業報告

公益財団法人周南市ふるさと振興財団は、「市民自らが行う地域づくり活動の振興」を目的として設立された、全国でも数少ない「ふるさと振興を使命とする財団」である。平成 25 事業年度からは公益財団法人として、すべての事業を公益目的事業として進めてきた。

地域で支え合い、助け合う「絆」が改めて見直される中、課題の解決や特色を活かした個性的なふるさとづくりに取り組むコミュニティの重要性が高まっており、財団にはコミュニティ活動支援の中核として、より大きな役割を果たしていくことが求められている。

平成 26 事業年度は、周南市の 31 地区コミュニティ推進組織の活動内容等を基に抽出した共通課題「若者参画・情報提供・組織・他地区交流」の解消に向けた取り組みとともに、特色ある活動に対するアドバイスや提案等の支援に力を入れ取り組んだ。

また、地場産品などの地域資源や、指定管理者として管理運営を行う公共施設を活用したふるさとづくり活動の振興にも、コミュニティとの関連性の強化を目指しながら、引き続き取り組んだ。

平成 13 年度より管理運営を行い、事務局を設置してきた周南市市民交流センターが閉館することに伴い、閉館に向けたイベントや催事に力を入れ、事務局の移転先や今後の財団についての協議を重ねてきた。

Ⅰ 市民が輝くふるさとづくり

決算 1,644,755 円
(予算 2,554,000 円)

市民一人ひとりが、地域コミュニティ活動やテーマ型の市民活動の担い手として、自主的・主体的に参加するふるさとづくりを支援することで、魅力あるふるさとづくりを目指した。

主な事業費		主な財源
負担金補助及び交付金	864,776 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
通信運搬費	132,540 円	
消耗品・燃料費 等	647,439 円	

1 コミュニティ（地縁型） 決算 1,222,503 円 (予算 1,929,000 円)

① コミュニティ情報の提供

決算 18,374 円
予算 20,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P6

幅広い年齢層に周南市のコミュニティ活動情報やコミュニティ組織の必要性等を発信していくため、ホームページを活用した情報提供を行うとともに、コミュニティ情報局において紙面での情報提供を行った。また、周南市市民交流センター内の空きスペースや多目的広場を利用して、各地区コミュニティ組織の活動報告等を掲示し、市民へ情報提供を行った。

◎ コミュニティホームページの運営

ホームページアドレス : <http://gokan-furusato.org/community/community.html>

- ・ Facebook を活用したリアルタイムな情報発信
- ・ 各地区コミュニティに活動情報提供者をお願いしてタイムリーにホームページを更新
- ・ 財団独自で地区の特色あるもの（自然・文化・歴史等）を情報収集し、掲載（周南市市民交流センター内にも写真掲示）
- ・ 訪問者数 月約 27,000 人（前年度 月約 20,600 人）
(HP 月約 21,000 人 FB 週 3 掲載×500 人×4 週=6,000 人)



◎ コミュニティ情報局の運営

- ・ コミュニティイベントチラシの掲示・配布
- ・ コミュニティ誌・公民館報の配布・バックナンバーの閲覧

◎ 周南市市民交流センターの多目的広場等を活用した情報提供

- ・ 各地区コミュニティ組織の活動・名所等の掲示



[公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 エ. コミュニティ活動に関する情報の収集と発信]

主な事業費		主な財源
事務用品	18,374 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入

② 先進地視察

決算	0 円
予算	0 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P6

◎ 隔年事業のため実施なし

〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 イ.周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援〕

主な事業費	主な財源
0 円	

③ 特色あるコミュニティ活動への支援

決算	396,603 円
予算	421,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P6

市民自らが行う地域づくり活動を推進するため、個性あるふるさとづくり活動を行うコミュニティ団体を広く公募することにより、コミュニティ活動への支援を実施した。要綱により2年継続で助成できることから平成25年度選定された団体に対しても助成を行った。

また、年度途中で当該年度活動の審査委員会を開催すると審査委員会までに実施した活動に対して審査しにくいという意見が審査委員会の中で出された。申請者からも同様な意見をいただいていた。このことについて、審査委員会で協議した結果、前年度末に次年度の活動の審査委員会をすることとなった。

◎ 継続助成対象事業実績（助成100,000円）

ア 遠石地区「遠石地区コミュニティ推進協議会設立30周年記念事業」

- ㊦ 実施団体 遠石地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施場所 遠石小学校体育館
- ㊨ 内 容 講師を招いてのトークコンサート
- ㊩ 総事業費 261,174円
- ㊪ 助成金額 100,000円



◎ 募集

- ア 期 間 平成26年1月10日（金）～2月7日（金）
- イ 周知方法 周南市コミュニティ推進連絡協議会総会時説明、各地区会長宛に案内送付
- ウ 申請件数 3件

◎ 審査委員会

- ア 期 日 平成26年3月13日（木） 18:30～20:00
- イ 場 所 周南市市民交流センター
- ウ 審査委員 8名（学識経験者2名、周南市地域振興部長、コミュニティ推進課長、理事2名 評議員、事務局長）
- エ 内 容 申請者による事業説明（プレゼンテーション）と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等10項目について5段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業3件を決定した。

◎ 助成対象事業実績

ア 朝市「“縁”じょい！ヶ丘」

- ㊦ 実施団体 桜木地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施日 毎月第二日曜日
- ㊨ 内 容 朝市の活性化を通じた安心安全のまちづくり
- ㊩ 総事業費 236,653円
- ㊪ 助成金額 100,000円



イ 湯野地域における観光資源の環境整備

- ㊦ 実施団体 湯野地区コミュニティ協議会
- ㊧ 実施日 平成26年4月より
- ㊨ 内容 地区内の観光資源の見直しと整備の推進
- ㊩ 総事業費 194,433円
- ㊪ 助成金額 97,216円



ウ 夜市 discovery! プロジェクト

- ㊦ 実施団体 夜市地区コミュニティ推進協議会
- ㊧ 実施日 平成26年4月より
- ㊨ 内容 地域資源の再発見とマッピング
- ㊩ 総事業費 173,298円
- ㊪ 助成金額 85,000円



◎ 平成27年度募集

ア 期間 平成27年1月9日(金)～2月6日(金)

イ 周知 各地区会長宛に案内送付

ウ 申請 3件

◎ 審査委員会

ア 期日 平成27年3月12日(木) 18:30～20:00

イ 場所 周南市市民交流センター

ウ 審査員 8名(学識経験者1名、周南市地域振興部長、コミュニティ推進課長、理事3名
評議員、事務局長)

エ 内容 申請者による事業説明(プレゼンテーション)と質疑応答をもとに、審査委員が事業の
先駆性・問題提起・効果等10項目について5段階で採点を行い、審査委員で協議し、
助成対象事業3件を決定した。

◎ 助成対象事業

ア トワイライトフェスティバル

- ㊦ 実施団体 和田の里づくり推進協議会
- ㊧ 実施内容 ほたるの時期に合わせたイベントの開催
- ㊨ 総事業費 200,000円
- ㊩ 助成金額 100,000円

イ ほたるルミナリエ長穂プロジェクト

- ㊦ 実施団体 住みよい長穂をつくる協議会
- ㊧ 実施内容 イルミネーションによる地域活性及びPR
- ㊨ 総事業費 250,000円
- ㊩ 助成金額 100,000円

ウ 未来にはばたけ! たくましい高水っ子! 通学合宿「たかみず」

- ㊦ 実施団体 高水地区まちづくり推進協議会
- ㊧ 実施内容 地域資源の再発見及びマッピングを行い、老朽化した案内看板を更新する
- ㊨ 総事業費 285,000円
- ㊩ 助成金額 100,000円

[公益目的事業1 (1) コミュニティ活動(地縁型)の支援 ア. 特色あるコミュニティ活動への助成]

主な事業費		主な財源
コミュニティ活動助成金	382,216 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
審査員謝金 等	14,387 円	

⑳ コミュニティコーディネート事業	決算	520,286 円
	予算	882,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

各地区コミュニティの活動内容について聞き取り調査を基に活動の現状を分析し、共通課題（若者参画・情報提供・組織・他地区交流）の洗い出しを行った。若者参画に関しては平成25年度に推進プランを作成し、今年度は、研修や交流の場を設定し事業を進めていった。その他の共通課題については、相談対応・地区ごとに提案することで課題解決に向けて進めていった。また、地区の特色ある活動に対して、アドバイスや支援を行った。

◎ 各地区の活動内容の分析と共通課題の洗い出し

◎ 若者の地域参画研修

ア 期日 平成26年5月17日（土）18日（日） 二日間

イ 場所 大島郡周防大島町

ウ 効果 市内の各地域で活動する若い世代に、県内で同じように、かつ先進的な活動をしている若い世代の取り組みを知り、交流することで、今度のコミュニティ活動に役立ててもらおうとともに、モチベーションの向上に繋がる。

エ 備考 周防大島町側からも非常に良い反応が得られ、今後、継続的に交流を持つことになった。

◎ 各地区の総会・活動の視察

富田東・富田西・福川・和田地区総会、大道理地区芝桜まつり・ほたる観賞の夕べ、遠石地区「地区出身のアスリートに学ぼう」等

◎ 公民館主事会への参加

各地区組織の事務局はおおよそ公民館主事であることから主事への挨拶と財団事業の説明

◎ 各地区組織からの相談対応（随時）

◎ 視察受け入れプログラムの作成

徳山小学校区・岐山地区・久米地区・大河内地区

◎ 特色ある活動へのアドバイス・人的支援

徳山小学校区 徳山市民ばやしの保存・継承

三丘地区 みつおずとこどもがいるプロジェクト

大津島地区 アイランダーへの出展協力

大道理地区 芝桜まつり・ほたる観賞の夕べに防長バスが協力することへの仲介

大向地区 大向のPR看板作成への支援

中須地区 住民交流・活動拠点「中須ごきげん広場」のPR支援等



〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業〕

主な経費		主な財源
職員手当	216,572 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
事務用品等	303,714 円	

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

各地区コミュニティ組織の交流（ネットワーク）を推進し、より広い視点に立ったふるさとづくりの振興と地域の活性化を図るため、活動実践者（リーダー）等によって結成されたふるさと応援隊の支援・推進を行った。また、月1回の定例会において、各地区のコミュニティ推進組織の情報交換を積極的に行った。隊員は、ボランティア活動、イベント応援・開催等の実践を通して得た経験等を自分の地域において活用するとともに、応援隊がコミュニティ活動を支援することで応援先の地域にも刺激を与え、円滑な活動へとつなげるよう相乗効果の発揮に努めた。



◎ ふるさと応援隊事務局の運営

◎ ふるさと応援隊ホームページの運営

ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/furusato-oentai/top.html>

◎ ふるさと応援隊のレベルアップのための勉強会、講習会等への参加促進

◎ 平成26年度 ふるさと応援隊活動

- 意見交換会 ● 勉強会 ★ イベントの開催 ☆ イベントの視察・応援
♪ 交流会

vol	期 日	場 所	内 容	参加人数
1	4/6（日） 9:00～14:00	ふるさと産品の店 こあ	☆ “こあの桜まつり” 応援	14名
2	5/23（金） 18:30～21:30	周南市 市民交流センター	○ ふるさと応援隊総会 ♪ ふるさと応援隊交流会	20名
3	6/14（土） 17:00～22:00	大道理公民館 周辺（大道理）	☆ 大道理ホテル鑑賞の夕べ 応援・視察	17名
4	6/18（水） 19:00～21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅰ	12名
5	7/17（木） 19:00～21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅱ	12名
6	7/19（土） 17:00～20:00	湯野温泉周辺（湯野）	○ 湯野浴衣まつり 応援・視察	8名
7	7/20（日） 17:00～22:00	城ヶ丘公園（桜木）	☆ 桜木地区ふれあい夏祭り 応援・視察	15名
8	8/20（水） 19:00～21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅲ	12名
9	8/23（土） 17:00～22:00	久米小学校 体育館（久米）	☆ 久米地区 ふるさと夏まつり応援・視察	14名
10	8/30（土） 16:00～22:30	須磨小学校 グラウンド（須金）	☆ 須金なし・ぶどうまつり2013 応援・視察	18名
11	9/18（木） 19:00～21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅳ	16名
12	10/16（木） 19:00～21:00	ふるさと産品の店 こあ	○ 定例会Ⅴ	17名

13	11/20 (木) 18:30~22:00	ふるさと製品の店 こあ	○ 定例会VI	22名
14	11/30 (日) 10:00~13:00	徳山医師会病院	☆ すこやかフェスタの応援・視察	14名
15	11/30 (日) 13:30~19:00	和田公民館(和田)	● 周南市コミュニティ交流集会	10名
16	12/6 (土) 10:00~12:00	市民交流センター 講座室	● 助成金獲得講座	3名
17	12/13 (土) 9:00~11:00	榑浜 コミュニティセンター	● コミュニティレンタル機材整備	8名
18	12/28 (日) 8:45~15:00	ふるさと製品の店 こあ	☆ こあ歳末市の応援	15名
19	1/15 (木) 19:00~21:00	ふるさと製品の店 こあ	○ 定例会VII ♪ 新年会	16名
20	2/19 (木) 19:00~21:00	ふるさと製品の店 こあ	○ 定例会VIII	23名
21	2/22 (日)	周防大島町	● 周南市コミュニティ 若者参画事業への参加	18名
22	3/19 (木) 19:00~21:00	ふるさと製品の店 こあ	○ 定例会IX	18名
23	3/21 (土) 9:00~14:00	市民交流センター	★ 市民交流センター閉館イベント	18名
他	通年	事務局	ホームページの運営	
延べ参加人数				340名



須金地区なしどう祭りの応援



毎月の定例会の様子

[公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動(地縁型)の支援 ウ.コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業]

主な事業費		主な財源
燃料費	29,282 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
活動案内他郵送料	25,005 円	

⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座

決算	0 円
予算	3,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

コミュニティ推進組織における次世代の人材育成を支援することを目的に、若者が地域活動に積極的に参画し、他の組織等とのネットワークを構築する場を提供した。

【※ ⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会 若者参画事業と共催事業のため省略】

〔公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 イ.周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援〕

主な事業費	主な財源
0 円	

⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営

決算	217,953 円
予算	218,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

周南市市民交流センターをコミュニティ交流拠点とし、周南市コミュニティ推進連絡協議会の事務局を運営した。協議会が実施している情報交換、研修会等の交流事業を支援し、充実を図った。

◎ 役員会

- ア 期 日 平成 26 年 6 月 5 日（木）14:00～
- イ 場 所 周南市市民交流センター
- ウ 参加者 周南市コミュニティ推進連絡協議会 役員
- エ 内 容 総会概要・提出議題の協議 等

◎ 総会

- ア 期 日 平成 26 年 6 月 16 日（月）15:00～
- イ 場 所 周南市徳山保健センター
- ウ 参加者 各地区コミュニティ推進組織会長及び代理等
- エ 内 容 事業報告、収支決算、
事業計画、収支予算、情報交換 等



◎ 交流集会

- ア 期 日 平成 26 年 11 月 30 日（日）13:30～19:00
- イ 場 所 和田地区（和田公民館他）
- ウ 参加者 17 地区コミュニティ推進組織等より 74 名参加
- エ 内 容 和田地区の活動紹介
(地区の概要・TEAM376 活動・津田選手の生家見学等)
徳山小学校区・大津島地区の事業紹介、情報交換会等



◎ 事務局担当者研修会

- ア 期 日 平成 26 年 12 月 6 日（土）10:00～
- イ 場 所 周南市市民交流センター 講座室
- ウ 参加者 5 地区コミュニティ推進組織等より 15 名参加
- エ 内 容 助成金獲得講座

◎ イベント機材整備

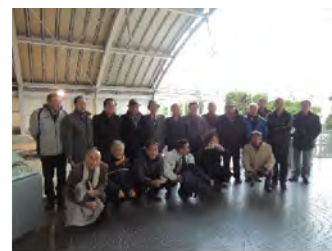
- ア 期 日 平成 26 年 12 月 13 日（土）9:00～
- イ 場 所 櫛浜コミュニティセンター
- ウ 参加者 10 地区コミュニティ推進組織等より 41 名参加
- エ 内 容 機材の整備・清掃

◎ 三団体合同交流会

- ア 期 日 平成 26 年 12 月 17 日 (水) 18:00～
- イ 場 所 周南市内
- ウ 参加者 16 地区コミュニティ推進組織等より 54 名参加
- エ 内 容 交流会

◎ 三団体合同視察研修

- ア 期 日 平成 27 年 2 月 9 日 (月) 10 日 (火)
- イ 視察地 兵庫県明石市
- ウ 参加者 15 地区コミュニティ推進組織等より 23 名参加
- エ 内 容 自治会加入促進の取り組み・北淡震災記念公園視察



◎ 若者参画事業

- ア 期 日 平成 27 年 2 月 22 日 (日)
- イ 場 所 大島郡周防大島町
- ウ 参加者 12 地区コミュニティ推進組織等より 32 名参加
- エ 内 容 定住促進協議会の取り組みの紹介・研修



◎ その他

ア イベント器材の貸出

貸出器材 ガーデンテーブル・チェア、音響器材、パソコン、綿菓子器 等
貸出件数 258 件

イ コミュニティ関連の情報収集・提供

〔公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動 (地縁型) の支援 イ. 周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援〕

主な事業費		主な財源
研修等負担金	106,600 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
事務用品 等	111,353 円	

③ 地域間ネットワーク形成事業

決算	15,000 円
予算	15,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P7-①

現在周南市も高齢化が進み、各地区コミュニティ推進組織の原点でもある小中学校も統廃合している状況である。そういったことから今後は、地域間のネットワーク形成が必要となってくる。また、防災の面では、平成 23 年に起こった東日本大震災で、被害にあった住民を助けられるのは被害の少ない住民だったことから、地域間のネットワークが確立できれば、そういった体制が整っていくと考えられる。そこで、平成 24 年度より、地域間ネットワーク形成事業を立ち上げた。今年度は、徳山小学校区の徳山市民ばやしの保存・継承事業をきっかけに久米地区・榎浜地区・鼓南地区等とのネットワークの構築に取り組んだ。また、現状について各地区コミュニティ推進組織の会長宛に郵送したり、相談対応や事業の際、必要性についてお話をした。

◎ 徳山小学校区の徳山市民ばやしの保存・継承事業をきっかけとしたネットワークの構築

- 久米地区 … 文化祭の最後の総踊りのため徳山小学校区より講師を派遣
- 榎浜地区 … 夏祭りで踊るため徳山小学校区作成の踊りの映像を提供
- 鼓南地区 … 夏祭りにおいて当初より踊っていることの情報収集

主な事業費		主な財源
講師謝金	15,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入

情報収集・提供

- ① コミュニティ情報の提供
- ② 先進地視察

活動支援

- ③ 特色あるコミュニティ活動への支援
- ⑳ コミュニティコーディネート事業

人材育成

- ④ ふるさと応援隊の支援・推進
- ⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座

環境づくり

- ⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営
- ㉓ 地域間ネットワーク形成事業

2 市民活動（テーマ型）	決算	422,252 円	（予算	625,000 円）
---------------------	-----------	------------------	------------	-------------------

⑦ 市民活動情報の提供	決算	0 円
	予算	7,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P8

周南市市民活動支援センターや各市民活動グループから収集した市民活動情報を周南市市民交流センター2階の情報コーナーや多目的広場等で配布・掲示を行った。

- ◎ 市民活動情報の収集
（提供者：市民活動団体・周南市市民活動支援センター 等）
- ◎ 周南市市民交流センター2階の情報コーナーにおいてチラシ・広報誌を配布
- ◎ 周南市市民交流センター2階の多目的広場・階段・壁面等でイベントポスター・活動報告等を掲示



主な事業費		主な財源
	0 円	

⑧ 特色ある市民活動への支援

決算	355,000	円
予算	534,000	円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

市民活動を促進するため、市内で活動する市民活動団体が新たに行う事業、新たな展開が図れる事業案を広く募集し、テーマ型の特色あるふるさとづくり活動に対し、「しゅうなん元気活動支援事業助成金」を交付することにより、市民活動団体の活動のレベルアップを支援した。

また、年度途中で当該年度活動の審査委員会を開催すると審査委員会までに実施した活動に対して審査しにくいという意見が審査委員会の中で出された。申請者からも同様な意見をいただいていた。このことについて、審査委員会で協議した結果、前年度末に次年度の活動の審査委員会をすることとなった。

◎ 募集

ア 期間 平成26年1月15日(水)～2月14日(金)

イ 周知 市広報、財団・周南市市民活動支援センターの各ホームページ、周南市市民活動グループバンク登録グループへのEメール送付

ウ 申請 5件

◎ 審査委員会

ア 期日 平成26年3月20日(木) 18:15～21:00

イ 場所 周南市市民交流センター

ウ 審査員 8名(周南市市民活動促進協議会委員1名、理事2名、評議員2名、周南市地域振興部長、コミュニティ推進課長、事務局長)



エ 内容 申請者による事業説明(プレゼンテーション)と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等10項目について5段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業4件を決定した。

◎ 助成対象事業実績

ア 中須地区住民の交流・活動拠点づくり事業

㊦ 実施団体 中須をよりよくする会

㊧ 実施内容 耕作放棄地を整備し、地域住民が集い交流できる場づくりを行う

㊨ 総事業費 107,451円

㊩ 助成金額 100,000円



イ 里山自然体験 森の感謝祭

㊦ 実施団体 NPO法人 LOVEECO 周南

㊧ 実施内容 里山が果たす役割を、自然体験プログラムや学習体験を通じて学んでもらう

㊨ 総事業費 141,984円

㊩ 助成金額 100,000円



ウ 湯野温泉 de おとなも子どもも『湯るりらイチ』

㊦ 実施団体 湯野ゆるりら会

㊧ 実施内容 定住増加を目標に、若い世代やファミリー層に向けた、湯野地区のPRイベントの開催

㊨ 総事業費 230,000円

㊩ 助成金額 100,000円



エ 活動啓発リーフレット製作及び子育てママリフレッシュ体験講座

- ㊦ 実施団体 子育て応援団にっこりーナ
- ㊧ 実施内容 活動内容を記載したリーフレットの製作による活動 PR 及び子育てママに向けたリフレッシュ講座の開催
- ㊨ 総事業費 79,532 円
- ㊩ 助成金額 43,000 円



◎ 平成 27 年度募集

- ア 期 間 平成 27 年 1 月 16 日（金）～2 月 13 日（金）
- イ 周 知 市広報、財団・周南市民活動支援センターの各ホームページ、周南市民活動グループバンク登録グループへの E メール送付
- ウ 申 請 6 件

◎ 審査委員会

- ア 期 日 平成 27 年 3 月 19 日（木）18:15～21:00
- イ 場 所 周南市民交流センター
- ウ 審査員 7 名（周南市民活動促進協議会委員 1 名、理事 1 名、評議員 2 名、周南市地域振興部長、事務局長）
- エ 内 容 申請者による事業説明（プレゼンテーション）と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等 10 項目について 5 段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業 5 件を決定した。

◎ 助成対象事業

ア 熊バアからママ熊へ～繋ごう地域の食文化

- ㊦ 実施団体 みつお☆たべものがかり
- ㊧ 実施内容 地元のおばあちゃんを講師に招いての食の教室の開催や、地元の野菜を使ったレシピの開発など
- ㊨ 総事業費 150,000 円
- ㊩ 助成金額 100,000 円

イ 楽しい“大菊「ダルマづくり」と「福助づくり」の栽培”

- ㊦ 実施団体 ゆめ福助の会
- ㊧ 実施内容 菊づくりの講習会の開催や育てた菊を出品したり展示をしたりしながら、活動の PR を行う
- ㊨ 総事業費 130,000 円
- ㊩ 助成金額 70,000 円

ウ 『～(なにになに)』しながらの見守り活動の推進

- ㊦ 実施団体 勝間見守り隊実行委員会
- ㊧ 実施内容 日常の中でいつでもどこでも見守りができるように、メンバーの増員を図り、地域住民の交通安全と不審者から地域住民を守るパトロール・声掛け運動を行う
- ㊨ 総事業費 130,887 円
- ㊩ 助成金額 100,000 円

エ 大向地区 88 ヶ所お大師整備事業

- ㊦ 実施団体 大向地区コミュニティ推進連絡協議会
- ㊧ 実施内容 お大師様 88 体の調査・確認などの整備を進めることで、地域の連携と交流を深め、将来的には住民参加型の事業を行う
- ㊨ 総事業費 150,000 円

㊦ 助成金額 100,000 円

オ ひまわり、見守り、岐山地区

㊦ 実施団体 岐山地区コミュニティ推進協議会

㊦ 実施内容 ひまわりの種を全戸配布し、ひまわりが咲き誇るまちづくりを目指す。また、ひまわりを育てる中で、近隣住民との会話や、子供たちへの見守りを意識してもらう。

㊦ 総事業費 100,000 円

㊦ 助成金額 100,000 円

〔公益目的事業1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 ア. 特色ある市民活動への支援〕

主な事業費		主な財源
助成金	343,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
審査委員謝金	12,000 円	

㊦ 市民活動講座の開催

決算	67,252 円
予算	81,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

市民活動グループ運営のための市民活動講座を実施するとともに、活動のレベルアップを目的とするファシリテーター養成講座を周南市市民活動支援センターと共同開催した。

㊦ 市民活動講座

ア 「想い」を「カタチ」にする実践ノウハウ ～ NPO マーケティングに学ぶ

㊦ 期 日 平成 26 年 12 月 20 日（土）

㊦ 会 場 周南市市民交流センター

㊦ 講 師 長浜洋二氏（NPO マーケティング研究所所長）

㊦ 参加数 9 名

㊦ 内 容 NPO マーケティング概論、事例紹介、マーケティングの実践ステップ、活動の整理



イ 助成金活用講座

㊦ 期 日 平成 26 年 5 月 11 日（日）12 月 6 日（土）
平成 27 年 2 月 28 日（土）

㊦ 会 場 周南市市民交流センター

㊦ 講 師 平田隆之氏（NPO 法人市民プロデュース理事長）
森永小波（公益財団法人山口きらめき財団）

㊦ 参加数 延 54 団体 64 名

㊦ 内 容 助成金の申請書の書き方のポイント等



ウ キャッチコピー講座

㊦ 期 日 平成 26 年 6 月 21 日（土）

㊦ 会 場 周南市市民交流センター

㊦ 講 師 平田隆之氏（NPO 法人市民プロデュース）

㊦ 参加数 延 22 団体 25 名

㊦ 内 容 キャッチコピーの効果的なつけ方等



エ 情報発信講座

- ㊦ 期 日 平成 26 年 6 月 21 日 (土) 7 月 12 日 (土) 8 月 3 日 (日)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 小柳明子氏 (NPO 法人市民プロデュース理事長)
平田隆之氏 (NPO 法人市民プロデュース)
坂本政道・中村浩樹 (ふじたプリント社)
- ㊩ 参加数 延 46 団体 56 名
- ㊪ 内 容 Facebook を使用した情報発信
チラシ・広報誌の作成のポイント



オ ファシリテーター養成講座

- ㊦ 期 日 平成 26 年 9 月 10 日 (水) 17 日 (水) 21 日 (日)
10 月 4 日 (土) 5 日 (日)
- ㊧ 会 場 周南市新南陽ふれあいセンター・徳山保健センター
- ㊨ 講 師 平田隆之氏 (NPO 法人市民プロデュース理事長)
吉岡恵美氏 (NPO 法人市民プロデュース)
船崎美智子氏 (ライフスタイル共同組合代表理事)
- ㊩ 参加数 延 42 団体 52 名
- ㊪ 内 容 円滑な会議運営等

カ NPO 法人啓発講座

- ㊦ 期 日 平成 26 年 10 月 18 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 伊藤彰氏 (やまぐち県民活動支援センター長)
- ㊩ 参加数 7 団体 7 名
- ㊪ 内 容 NPO 法人設立に必要な手続き



キ ワールドカフェ講座

- ㊦ 期 日 平成 27 年 1 月 17 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 船崎美智子氏 (ライフスタイル共同組合代表理事)
- ㊩ 参加数 18 団体 18 名
- ㊪ 内 容 ワールドカフェの企画等



ク ファシリテーショングラフィック講座

- ㊦ 期 日 平成 27 年 1 月 31 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 吉岡恵美氏 (NPO 法人市民プロデュース)
- ㊩ 参加数 8 団体 9 名
- ㊪ 内 容 円滑な会議運営



ケ 経理・税務講座

- ㊦ 期 日 平成 27 年 2 月 8 日 (日) 14 日 (土)
- ㊧ 会 場 周南市市民交流センター
- ㊨ 講 師 中村久枝氏 (NPO 法人日本フィナンシャルプランナーズ協会山口支部長)
- ㊩ 参加数 延 14 団体 16 名
- ㊪ 内 容 経理・決算のポイント

主な事業費		主な財源
講師の謝金・旅費	63,040 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
事務用品	4,212 円	

⑩ 市民活動拠点施設の調査	決算	0 円
	予算	3,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P8

現在、周南市の市民活動拠点施設としては、周南市市民交流センター内の周南市市民活動支援センター及び福川地区にある周南市西部市民活動支援センターがある。平成 24 年度は、コミュニティ推進組織を中心に活動拠点の現状について調査した。

主な事業費	主な財源
0 円	

情報収集・提供

- ⑦ 市民活動情報の提供

活動支援

- ⑧ 特色ある市民活動への支援

人材育成

- ⑨ 市民活動講座の開催

環境づくり

- ⑩ 市民活動拠点施設の調査

II ものからひとへのふるさとづくり

決算 8,525,256 円
(予算 9,437,000 円)

地場産品には環境保全や伝統・文化の継承といった働きもあることから、地域おこしのために欠かせない原動力のひとつである。

そこで、地場産品を通して都市と農山漁村との人とひととのふれあい・交流を大切にしながら地産地消を推進した。また、周南市の地場産品について興味・関心を持ち、より理解を深めるきっかけづくりと体験を通じた学ぶ場を提供し、もの（地場産品）からひと（ふるさとづくりの担い手）へと心のつながるふるさとづくりを目指した。

主な事業費		主な財源
人件費	4,721,145 円	基本財産運用収入、販売手数料、周南市補助金、ふるさと振興基金繰入
消耗品費	144,232 円	
光熱水費	1,153,612 円	
使用料及び賃借料	832,834 円	
公課費等	1,673,433 円	

1 都市と農山漁村の交流

決算 8,458,023 円

(予算 9,202,000 円)

⑪ 地場産品の情報の提供

決算 1,009,970 円
予算 1,214,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P9

生産者の思い入れや料理方法など、地域の魅力を紙面やホームページ、周南市市民交流センター及びふるさと産品の店“こあ”で情報発信し、地場産品への愛着と理解を深めてもらうきっかけづくりに努めた。

また、地場産品に関する理解を深めてもらうため、財団の機関紙「ふるさとかわら版」で特色ある地場産品や生産者、調理・加工方法等の情報発信を行った。

◎ ふるさと産品の店“こあ”での地場産品の紹介

◎ 生産者・郷土料理・行事食等紹介

ア 生産者紹介

商品	取材先	地区
ビーズストラップ	白鳩学園育英館	徳山
動物パズル	厚東健二さん	鹿野
いちごジャム	熊毛農産物加工所	三丘

イ 掲示場所

周南市市民交流センター、ふるさと産品の店“こあ”店内及び壁面等、ホームページ

ウ こあ通信産品紹介

毎月、おススメ産品を掲載



◎ 産品活用レシピ作成

調理名	食材	地区
梅酢ドリンク	青梅	夜市才原
梅ジュース	青梅	夜市
梅みそ	完熟梅	夜市才原
赤しその佃煮	赤しそ	夜市



配布場所

周南市市民交流センター、ふるさと産品の店“こあ”店内、ホームページ、周南市生涯学習センター

◎ 体験会・イベント等の報告

◎ ふるさと産品の店“こあ”ホームページの運営

ア アドレス <http://gokan-furusato.org/koa/index.html>

イ ブログ、フェイスブックを連携させたリアルタイムな情報提供を実施

ウ ホームページの改善

徳山大学の協力のもと実施

リニューアル平成 27 年 4 月 1 日

アドレス <http://gokan-furusato.org/core/>

◎ ふるさとかわら版による地場産品の紹介

ふるさとかわら版 年 3 回 各 2,000 部発行

◎ 地場産品ガイドブックの配布



〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援〕

主な事業費		主な財源
人件費	665,776 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
燃料費	127,723 円	
事務用品 等	216,471 円	

⑫ 市内外へ出張による地場産品の普及活動

決算	48,763 円
予算	228,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P9

ふるさと産品の店“こあ”や朝市・夕市の利用者のほか、周南市の地場産品を広く知ってもらうため、市内で実施され多数の集客が見込まれるイベントに出張することで、地場産品の普及活動を行った。

◎ 周南コンベンションシティの推進

ア 連携団体：一般財団法人周南観光コンベンション協会

一般財団法人周南市周南コンベンション協会と連携し、県外から来場された方々におもてなしをするため地場産品の PR と販売を行った。



回	期 日	イベント名
1	4/23 (水) 4/24 (木)	中国市議会議長会

2	5/10(土)・11(日)	西京銀行チャレンジカップジュニアオープンバドミントン大会
3	5/14(水)	全国市長会中国支部総会
4	6/28(土)	ファミリーカップ全日本小学生大会山口県決勝大会
5	7/25(金) 7/26(土)	全国国公立幼稚園教育研究協議会山口大会
6	8/1(金)	名水サミット懇親会

イ その他 周南市等が出席される各種催し及び県人会等への情報提供を行った。

しゅうなん美味しいMAP、産品紹介チラシ等を配布した。

◎ 各会場での普及活動

回	期 日	場 所	イベント名
1	4/5(土) 4/6(日)	麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター	花☆ワイン周南まんま市場
2	4/10(木)	周南市役所売店前	市役所販売
3	4/10(木)～ 4/29(祝)	大道理芝桜会場	芝桜まつり
4	5/8(木)	周南市役所売店前	市役所販売
5	5/24(土)	はつもみぢ	酒蔵まつり
6	6/12(木)	周南市役所売店前	市役所販売
7	8/21(木)	周南市役所売店前	市役所販売
8	9/11(木)	周南市役所売店前	市役所販売
9	10/9(木)	周南市役所売店前	市役所販売
10	10/4(土) 10/5(日)	美東サービスエリア	周南・防府合同観光キャンペーン
11	10/5(日)	大田原自然の家	おおたばら交流会
12	11/9(日)	櫛浜コミュニティセンター	櫛浜地区文化祭
13	11/13(木)	周南市役所売店前	市役所販売
14	11/15(土)	櫛浜コミュニティセンター	JRふれあいウォーク
15	11/16(日)	福山市神辺町	防府市・周南市合同観光キャンペーン
16	11/15(土) 11/16(日)	ボートレースからつ	オラレマーケット
17	11/30(日)	徳山医師会病院	すこやかフェスタ 2014
18	12/11(木)	周南市役所売店前	市役所販売
19	12/23(祝)	周南市市民交流センター	冬のツリーまつりえんがわ祭
20	1/8(木)	周南市役所売店前	市役所販売
21	1/13(火)	櫛浜コミュニティセンター	地域食体験リレー
22	2/12(木)	周南市役所売店前	市役所販売
23	3/12(木)	周南市役所売店前	市役所販売
24	3/14(土)	向道湖ふれあいの家	みそづくり体験教室

[公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援]

主な事業費		主な財源
イベントスタッフ人件費	37,786 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入、雑収入
事務用品 等	10,977 円	

⑭ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援	決算	918,349 円
	予算	933,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P9

人とひととが関わる「人や心」の交流と、地産地消を推進する「ものの交流」を通して、消費者と生産者が相互理解を深めるため、直接ふれあう朝市・夕市を支援した。

また、生産者グループが主体となって実施されている朝市・夕市連絡協議会で、よりよい運営・イベント等について協議し、産地、生産者等についての理解を深めてもらえるように努めた。

- ◎ 朝市 毎週火曜日 8:30~10:30
- ◎ 夕市 毎週木曜日 13:00~16:00
- ◎ 桜まつり 4月6日(日)
- ◎ ミニ夏まつり 7月31日(木)
- ◎ 地産地消フェア(ルーラル315・376フェスタ)
11月9日(日)
徳山商工高校 高校生開発商品試食販売実施
- ◎ 歳末市 12月28日(日)
岐陽中学校 ボランティア8名参加
- ◎ ふるさと朝市・夕市連絡協議会の開催 団体数 14グループ(野菜、鮮魚、花、パン等)



回	期 日	内 容
1	5/27(火)	こあの桜まつりの気づきについて、運営について
2	6/29(日)	親睦会
3	9/30(火)	こあのミニ夏まつりの気づき、こあの地産地消フェア(ルーラル315・376フェスタ)について、運営について、歳末市について
4	11/25(火)	こあの地産地消フェアの気づき、歳末市について、運営について
5	2/24(火)	歳末市の気づきについて、運営について、こあの桜まつりについて
6	3/24(火)	親睦会

[公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援]

主な事業費		主な財源
施設修繕・備品購入 等	918,349 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入

⑮ 食農ボランティア活動の支援	決算	23,476 円
	予算	24,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P10

大田原自然の家の小麦や大豆、野菜などの栽培をするためのボランティア活動を支援した。

- ◎ 年間11回実施(毎月)



[公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営]

主な事業費		主な財源
燃料費	12,504 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
通信運搬費	10,972 円	

⑩ 地場産品推進拠点施設の運営	決算	6,457,465 円
	予算	6,803,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P10

周南市の中心（まちなか）で都市と農山漁村をつなぐ橋渡しと、「人と地域の魅力」を多くの方に知っていただくことを目指し、ふるさと産品の店“こあ”で地域の産品を手に取り、身近に感じてもらえる運営に努めた。

◎ 地域の日の実施

朝市・夕市で紹介できない周辺地域のものを集中して紹介

第1火曜日	熊毛の日
第2木曜日	鹿野の日
第3月曜日	新南陽の日
毎週火曜日	八代の日・和田の日



◎ 郷土の日の実施

第1木曜日	ささげご飯
第3木曜日	田舎寿司
第4木曜日	炊き込みご飯
第5木曜日	お楽しみご飯



◎ 学校の受入れ

徳山商工高校；課題研究授業「店舗設計」

徳山商工高校、公益財団法人周南地域地場産業振興センターと連携し、販売体験、商品陳列・レイアウト・接客等の学習を生徒15名が実施。

5/12(月)、5/26(月)、6/16(月) 7/26(土)、10/27(月)、
11/4(火)、11/9(日)、11/20(木)

課題研究発表会 1/26(月)

熊毛北高校；課題研究「研修視察」

桜ヶ丘高校；「産品調べ」

徳山高校；放送部「こあについて調査・見学」

岐山中学校；総合的な学習の時間「周南探訪」



◎ 店舗道路沿いに産品や店内風景等、写真の掲示

◎ 店舗駐車場フェンス沿いに生産者紹介の掲示

◎ 生産者及び地域の写真の掲示

◎ セット品等贈答用の利用促進

◎ エコスタンプの実施

◎ 文化振興財団会員の特典制度への加入

◎ 報道機関の協力による紹介活動



主な事業費		主な財源
人件費	4,017,583 円	販売手数料、周南市補助金、雑収入、ふるさと振興基金繰入
光熱水費	1,153,612 円	
建物等賃借料	716,885 円	
公課費等	569,385 円	

情報収集・提供

- ⑪ 地場産品の情報の提供
- ⑫ 市内外への出張による地場産品の普及活動

活動支援

- ⑭ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援

人材育成

- ⑮ 食農ボランティア活動の支援

環境づくり

- ⑯ 地場産品推進拠点施設の運営

2 食農・食育 決算 67,233 円 (予算 235,000 円)

⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催	決算	48,353 円
	予算	207,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

地場産品をより身近に感じる場づくりと、生産者と消費者の交流に努め、周南市の地場産品に対する理解をさらに深めてもらうきっかけづくりを行った。

下記に実施した内容は、イベント報告としてホームページに掲載した。



ア 地域食体験リレー

今残しておかないと消えてしまう郷土料理、昔ながらの味を伝承していくこととあわせ、作る人を知るきっかけづくりを行い、地域のファンづくりを行うことを目的に開催した。今年度は榑浜コミュニティセンター、榑浜公民館、市民活動団体と連携し、榑浜地区母子保健推進員の協力を得て託児所付き講座として榑浜コミュニティセンターにて実施した。これにより**地域・市民活動団体・財団の新たな連携**ができた。

期日	紹介地区	会場	内容	講師(実施者)	参加者
1/13 (火)	夜市	榑浜コミュニティセンター	衣かつぎ、ずいきのはりはり漬、里芋と鶏肉のそぼろ丼、鶏肉と里芋のうま煮、里芋のぼたもち	ベジフルの友 有吉明美	12名

イ お気軽お抹茶カフェ

季節を感じる上生菓子の解説を聞きながら、和菓子とお抹茶を気軽に味わっていただき「和」を楽しむ内容

として実施した。協力；お抹茶カフェ実行委員会（水木菓子舗 3代目店主岩崎龍司）

◎ 実施日 5/24（土）、7/26（土）

ウ その他の体験教室

期 日	内 容	講師（実施者）	参加者
7/18（金）	しそジュースづくり	坪井智子	12名
11/9（日）	木工体験	厚東健二	約20名
11/9（日）	周南スープ試食会	周南市食生活改善推進協議会	100名
12/28（日）	そば打ち体験	須々万加工場グループ	約10組30名
3/14（土）	みそづくり教室	周南市大田原自然の家 松原ますみ	23名

みそづくり教室は、向道湖ふれあいの家、大田原自然の家、ふるさと産品の店“こあ”が連携して取り組んだ。

〔公益目的事業1（3）地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援〕

主な事業費		主な財源
講師謝金	28,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
事務用品 等	20,353 円	

⑱ 食育体験プログラムの提供

決算	0 円
予算	0 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

大田原自然の家で、加工食品作り、農作業体験等の食育体験のプログラムを提供した。

◎ 主な体験活動

パン作り、ピザ作り、うどん打ち、そば打ち
こんにゃく作り、野外炊事、田植え、稲刈り 等



〔公益目的事業1（3）地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費	主な財源
0 円	

⑲ 子ども・家族対象の食農・食育活動

決算	297 円
予算	9,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P11

子どもとその家族を対象とする食農・食育体験事業や、「食」に関する講座をふるさと産品の店“こあ”と周南市大田原自然の家で実施した。地場産品を愛する心を育み、安心・安全な「食」を次世代に引き継ぐことを目指した。

実施にあたっては、「ふるさと産品の店“こあ”」と「周南市大田原自然の家」が連携しながら取り組んだ。

◎ 「こあ」ってどんなところ？

- ア 期 日 平成26年7月31日（木）
- イ 参加者 市内小学生10名
- ウ 内 容 生産者との交流、販売実習、地元食材料理の食事、生産場所学習
- エ 協力者 ふるさと朝市・夕市連絡協議会



◎ 周南市大田原自然の家食農・食育事業

- ・ 大地を耕し作物をつくる家族のつどい（8回シリーズ）
- ・ 畑にあつまれ！育てて食べよう（6回シリーズ）
- ・ 米こめ大作戦（田植え・稲刈り）
- ・ おおたばらどろんこむら（4回シリーズ）
- ・ 自然まるかじり（春、秋）
- ・ おおたばら収穫祭（11月）



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援、ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費		主な財源	
事務用品	297 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入	

⑳ 食農・食育体験農園の管理

決算	18,583 円
予算	19,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P11

子ども達が気軽に野菜の収穫体験ができるように大田原自然の家に「ちびっ子農園」を設置し、野菜の栽培など農園の管理を行った。



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費		主な財源	
活動用品	18,583 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入	

情報収集・提供

- ⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催

活動支援

- ⑱ 食育体験プログラムの提供

人材育成

- ⑲ 子ども・家族対象の食農・食育活動

環境づくり

- ⑳ 食農・食育体験農園の管理

Ⅲ 明日へつなげるふるさとづくり

決算 82,757,411 円
 (予算 86,209,000 円)

周南市の各地域で培われてきた伝統や文化、豊かな自然と風土、活発な産業活動などの地域資源を基盤としつつ、地域特性を活かしたふるさとづくりとネットワークの更なる充実に取り組み、地域の財産を次世代に継承できるよう、通信会員・拠点施設の利用者の増加・情報や体験プログラムの提供など市民の自主的・主体的なふるさとづくり活動を支援した。

主な費用		主な財源
人件費	38,381,424 円	基本財産運用収入、会費収入、周南市指定管理料、ふるさと振興基金繰入金
光熱水費	11,415,841 円	
委託料	20,278,044 円	
使用料及び賃借料	2,398,220 円	
消耗品費等	10,283,882 円	

② ふるさとづくりに関する情報の提供

決算 110,347 円
 予算 119,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

周南市市民交流センターを「ふるさとづくり情報の拠点」と位置付け、財団の情報をインターネットで、広く市民に提供するため、財団関連のホームページ（コミュニティ推進連絡協議会・ふるさと応援隊・ふるさと産品の店“こあ”・周南市大田原自然の家）をとりまとめて紹介した。

また、情報発信コーナー「サイトス」における情報発信や自分たちの地域を知るために地域で作成された書籍や映像、関連資料を収集、貸出しを行った。

◎ 財団ホームページの運営

ホームページアドレス：http://gokan-furusato.org

◎ 周南市市民交流センター2階 情報発信コーナー「サイトス」でイベントチラシ・公民館講座等の情報提供

◎ 「今、甦る 富田道源家」「とくやま昔話」等周南市に関わる書籍・映像・資料等の収集・貸出



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア. ふるさとづくりに関する情報の提供〕

主な事業費		主な財源
消耗品	74,080 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入金
レンタルサーバー 等	36,267 円	

㉒ ふるさとかわら版の発行と探訪

決算	311,795 円
予算	495,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

ふるさとの歴史・伝統・文化・食に関する情報やふるさとづくりの活動情報を盛り込んだ機関紙「ふるさとかわら版」を年3回発行とインターネットで発信することで、ふるさとの魅力の掘り起こしを行った。内容については、編集委員による編集会議を開催し、決定した。

アドレス：<http://gokan-furusato.org/zaidan/kawaraban.htm> （過去の内容を掲載）

また、「ふるさとかわら版」の中から数箇所厳選してふるさと探訪を行う予定だったが、申込者少数のため中止した。



◎ ふるさとかわら版の内容

発行	内 容	
No.45	ふるさと探訪：しゅうなんスタイル ～周南に住み始めた若者たち～	あんな風こんな風： 岐山地区コミュニティ推進協議会
	活動紹介：榎浜地区コミュニティ推進協議会	1枚の絵：福川 高洲遊泳
	昔の遊び：5寸釘で釘打ち	美博通信：宮崎進
	山陽道エピソード：夜市の七不思議ほか	ふるさとの味：ピーマンじゃこ炒め
No.46	ふるさと探訪：しゅうなんスタイル ～周南に住み始めた若者たち～	活動紹介：日本宇宙少年団周南分団
	あんな風こんな風： “ほっと三丘”コミュニティ協議会	1枚の絵：福川小学校
	昔の遊び：木の実あそび	山陽道エピソード：万役山再考ほか
	美博通信：岸田劉生	ふるさとの味：そばがき
No.47	あんな風こんな風：大道理をよくする会	あんな風こんな風：中須をよりよくする会
	1枚の絵：徳山駅前	しっちよるふるさと福川 ～ジャンボカルタ大会
	昔の遊び：おしくらまんじゅう	美博通信：陶弘護
	山陽道エピソード：戸田山の太閤道ほか	弟見山カタクリの花
	ふるさとの味：簡単鯛めし	

〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア.ふるさとづくりに関する情報の提供〕

主な事業費		主な財源
編集委員謝金	36,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
機関紙等の印刷製本費	252,720 円	
案内郵送料等	23,075 円	

⑳ ふるさと通信会員

決算	438,774 円
予算	606,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P12

周南市出身者、滞在経験者を中心に構成する「ふるさと通信会員」に対して、機関紙「ふるさとかわら版」及び「ふるさと味の宅配便」を送付し、周南市の情報とふるさとの味を楽しんでいただくことで、「ふるさと周南」を思い出していただいた。

また、ふるさと周南への思いの輪を広げるため、「大切な人」への贈り物としての活用を促した。

◎ ふるさとかわら版・ふるさとニュースの発送 年3回

◎ ふるさと味の宅配便の発送 年1回

A：夜市特産さといもセット

(さといも 1.5kg 赤芽・ゆず付、里芋レシピ)

B：鹿野ファームセット

(荒挽きウインナー、チーズウインナー、ポロニアソーセージ)

A・Bいずれかを希望選択により発送

◎ 平成26年度の新規会員数：7名

◎ 平成27年3月31日現在の会員数：200名

◎ 会員募集

ア 公益財団法人周南地域地場産業振興センターと連携し、徳山駅新幹線口改札内待合室（キオスク前）でショーケース展示PR

イ 徳山高校同窓会「岐山会」（徳山・東京）

ウ NPO法人長州の絆会へ情報提供

エ ふるさと暮らしセミナー（東京・大阪）チラシ配布

オ その他

コミュニティ交流集会、関西山口県同郷会、東海山口県人会、おいでませ山口館、周南市役所、市民交流センター、ふるさと製品の店“こあ”、ホームページ、財団各種講習会、広島等チラシ配布



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア.ふるさとづくりに関する情報の提供〕

主な事業費		主な財源
産品代等消耗品	221,184 円	会費収入、基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
ふるさと通信等郵送料	203,350 円	
郵便振替手数料	14,240 円	

㉑ 体験活動プログラムの提供

決算	6,480 円
予算	7,000 円

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P13

周南市大田原自然の家で、自然や人とふれあいながら学ぶプログラムの提供やそれに必要な情報の収集、研究開発を行った。また、利用が少なくなる閑散期に学習支援として、学校等の要望に応じた出張指導・出前講座を行った。

◎ ウォークラリー・ハイキング

◎ クラフト（竹細工・木工・陶芸・わら細工等）

◎ 自然体験活動（キャンプ・沢登り・川遊び・カヌー・天体観察等）

◎ もやいで学ぶ体験活動 等

◎ 出張指導・出前講座（櫛浜小学校・夜市小学校・大河内小学校・須々万



主な事業費		主な財源
活動用品	6,480 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入

②⑥ ネットワーク形成イベントの開催	決算	500,000 円
	予算	500,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P13

市民活動の推進、市民交流の促進、ふるさとづくりの育成等を目的とする周南市市民交流センターを活用し、幅広く市民に関心を持てるイベント（「ふるさと発見伝」）を開催し、人・地域・心（思い）の出会いの場となるイベント開催を支援した。また、この度は、周南市市民交流センターが閉館ということもあり「ありがとう徳山駅ビル」と題して、駅ビル周辺の歴史写真展や駅ビルクイズ大会など多彩なイベントで盛り上げ、最後に閉館式典を開催した。

◎ 周南市市民交流センター ふるさと発見伝 Final 46年の歴史に幕「ありがとう徳山駅ビル」の開催支援

- ア 期 日 平成27年3月21日（土）
- イ 会 場 周南市市民交流センター
- ウ 来 場 者 約2,000名
- エ 交付団体 ふるさと応援隊
- オ 交付金額 500,000円
- カ 内 容 徳山駅ビルに関するクイズ大会・徳山市民ばやしの披露 & 平成バージョンの発表、徳山駅ビル周辺の歴史写真展、寄席 等



[公益目的事業1 (4) (1)~(3)について横断的・総合的に支援するための事業 ア. ネットワーク形成イベントの開催]

主な事業費		主な財源
イベント開催交付金	500,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入

②⑦ 子ども対象の自然体験事業	決算	14,580 円
	予算	15,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P13

自然の中で五感を通してふれあうことで子どもの生きる力を育む体験の場を提供し、将来のふるさとづくりを担う豊かな心を持つたくましい子どもの育成と子育て家族の支援を行った。

- ◎ わんぱく村（春・夏・冬）1~6年生対象
- ◎ 子ども村（春・夏・秋） 高（春）・中（夏）・低（秋）学年対象
- ◎ のびのびいきいき自然児キャンプ（8月 6泊7日）
- ◎ 冬の50kmを歩く少年の旅（12月） 駅ビル~須々万~大田原~八代
- ◎ キャンプはじめのだいい歩（4月）
- ◎ ファミリーアドベンチャーカヌーツーリング（9月）
- ◎ 手作りザオとシカケdeさかなつり（5月）
- ◎ ねんどであそぼう！（6月）
- ◎ Familyでたなばた（7月）
- ◎ 木をけずってmyハシ作り（2月）
- ◎ 秋の天体教室
- ◎ ネイチャークリスマスリース作り（12月）
- ◎ 正月を迎える家族のつどい（12月）



主な事業費		主な財源
事務用品	14,580 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入

⑳ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携	決算	10,000 円
	予算	10,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P13

周南市大田原自然の家の活動に関わる中学生から高齢者までの幅広いボランティアの育成・支援及び連携を行い、人と交流する喜び、人を大切に作る心や思いやりを育むことで体験活動の充実に取り組んだ。

- ◎ キャンプカウンセラー研修会 (9月)
- ◎ 一生の思い出になるおむすびを食べよう (10月)
- ◎ スキルアップセミナー (2月)
- ◎ ステップアップキャンプ (3月)
- ◎ キャンプカウンセラーリーダー養成冬バリュウパック (3月)
- ◎ ボランティア研修会 (随時)



主な事業費		主な財源
講師謝金	10,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入

㉑ 他団体との合同事業開催	決算	104,937 円
	予算	107,000 円

ふるさとづくり推進プランII「五感で感じるふるさと周南」 P14

周南市市民交流センターにおいて、他団体（財団法人周南市文化振興財団）との合同事業を開催し、団体間のネットワークの構築を図り、市民の交流の場を創出した。この度は、周南市市民交流センターの閉館イベントの中で開催し、イベントを盛り上げた。

また、財団の目的に合う他団体の事業に対して、後援・協力を行った。

- ◎ 「第14回周南市市民交流センター寄席」の開催
 - ア 期 日 平成27年3月21日(土) 10:00~11:30
 - イ 会 場 周南市市民交流センター2階 多目的広場
 - ウ 出 演 桂梅團治、桂小梅、松鶴家一若
 - エ 内 容 落語、漫談 等
 - オ 来 場 者 約200名
 - カ 備 考 同日午後開催の「寄席 in 長穂」も共催



主な経費		主な財源
出演者謝金	100,000 円	基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
消耗品	4,937 円	

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P14

周南市市民交流センター

市民活動の推進、市民交流の促進、ふるさとづくりの育成等を目的として設置された周南市市民交流センターの管理業務及び使用料の徴収事務を行った。また、周南市におけるコミュニティ及びふるさとづくりの拠点施設として、「ふるさと発見伝 Final」、「寄席」等を実施した。さらに、コミュニティ情報局、市民多目的広場の空きを利用して、各地区コミュニティ推進組織の情報提供を行った。

- ◎ 指定管理期間：平成 26 年度
- ◎ 利用者数：89,137 人（H25：96,754 人）
- ◎ 使用料収入：1,515,360 円（H25：1,590,290 円）
- ◎ 利用実績の詳細は 32 ページのとおり
- ◎ 自主事業（再掲 P24、27、28）
- ◎ 多目的広場及び北側壁面を利用した地域づくり情報等の掲示
 （例）桜木地区、久米地区、大津島地区、長穂地区等紹介
 徳山駅ビル周辺歴史写真展
 市民活動団体の紹介、地場産品紹介 等



ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/koryucenter/index.html>

〔公益目的事業 1 (4) (1)～(3)について横断的・総合的に支援するための事業 イ. 周南市市民交流センターの運営〕

主な事業費		主な財源
人件費	9,789,783 円	周南市指定管理料
光熱水費	10,179,705 円	
警備業務等委託料	18,204,768 円	
放送器材等賃借料等	5,652,487 円	
合 計	43,826,743 円	

周南市大田原自然の家

集団宿泊訓練及び野外活動等を通して心身ともに健全な青少年を育成することを目的に設置された周南市大田原自然の家の管理運営業務及び使用料の徴収事務を行った。また、市内の園児・児童を対象に手作りの機関紙の配布の他、フェイスブックを活用しての情報発信（H26年度のフェイスブック閲覧者数約1万人）を開始した。

さらに、平成 26 年度は同じ地区で活動する棚田清流の会、周南学びの旅推進協議会と連携した事業「一生の思い出になるおむすびを食べよう」を実施するなど、より幅広い層を対象とした自主事業を企画し、食農・食育活動や自然の中での体験活動を通して特色ある運営を行い、ふるさとづくり推進プランとの連携を強化して事業を実施した。

- ◎ 指定管理期間：平成 26 年度～28 年度
- ◎ 利用者数：10,175 人（H25：10,372 人）
- ◎ 使用料収入：560,845 円（H25：605,215 円）
- ◎ 利用実績の詳細は 33 ページのとおり
- ◎ 利用者評価 満足度 3.95 スタッフ 3.96（4 点満点）
- ◎ 家族対象事業



- ・ 大地を耕し作物をつくる家族のつどい（8 回）
- ・ 育てて、食べよう～おおたばら食農学校～（6 回）
- ・ 米こめ大作戦（春、秋） ・ 正月を迎える家族のつどい
- ・ おおたばらどろんこむら（春、夏、秋、冬）
- ・ 自然まるかじり（春、秋）
- ・ キャンプはじめのだい一歩
- ・ Family でたなばた ・ ねんどであそぼう！
- ・ ファミリーアドベンチャーカヌーツーリング
- ・ 自然となかよし☆ネイチャークリスマスリース作り
- ・ 手作りザオとシカケ de さかなつり
- ・ 家族でつくろう！カップケーキ（H25 年度から新規）
- ・ 木をけずって my ハシ作り
- ・ 手作りピザ工房 ・ 手作りベーコン工房
- ・ 手作りみそ工房
- ・ あったか手打ちうどん工房

◎ 子ども対象事業

- ・ わんぱく村（春、夏、冬）
- ・ 子ども村（夏、秋、春）
- ・ のびのびいきいき自然児キャンプ
- ・ 冬の 50km を歩く少年の旅

◎ 一般対象事業

- ・ 秋の天体教室
- ・ おおたばら収穫祭
- ・ おおたばら交流会

◎ 指導者対象事業

- ・ キャンプカウンセラー研修会
- ・ スキルアップセミナー
- ・ ステップアップキャンプ
- ・ 冬バリューパック



ホームページアドレス：<http://www.city.shunan.yamaguchi.jp/ootabara/>

〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕

主な事業費		主な財源
人件費	26,134,813 円	周南市指定管理料
浄化槽維持管理等委託料	1,505,520 円	
公課費	2,206,400 円	
光熱水費等	3,524,560 円	
合計	33,371,293 円	

周南市向道湖ふれあいの家

市民交流と住民福祉の増進を図ることを目的として設置された周南市向道湖ふれあいの家の管理業務及び使用料の徴収事務を行った。また、隣接する福祉農園で実施される茶園作業の支援、地区コミュニティと共催によるイベント「山野草を食べる会」を実施した。

- ◎ 指定管理期間：平成 25～27 年度
- ◎ 利用者数：2,963 人（H25：3,349 人）
- ◎ 使用料収入：71,020 円（H25：70,170 円）
- ◎ 利用実績の詳細は 34 ページのとおり
- ◎ 自主事業



向道湖周辺の山野草を食べる会

- ㊦ 期 日 平成 26 年 6 月 15 日（日）
- ㊧ 場 所 周南市向道湖ふれあいの家、向道湖畔
- ㊨ 参加者 28 名
- ㊩ 内 容 向道湖畔をウォーキングしながら山野草を採取し、ふれあいの家にて揚げて食べる

みそづくり教室

- ㊦ 期 日 平成 27 年 3 月 14 日（土）
- ㊧ 場 所 周南市向道湖ふれあいの家
- ㊨ 参加者 23 名
- ㊩ 内 容 大田原自然の家職員の指導により、みそづくりを体験してもらう
向道湖ふれあいの家、大田原自然の家、ふるさと産品の店“こあ”の合同開催

ホームページアドレス：<http://gokan-furusato.org/zaidan/kodofureai.htm>

〔公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 エ. 向道湖ふれあいをの家の運営〕

主な事業費		財 源
人件費	2,456,828 円	周南市指定管理料、基本財産運用収入、ふるさと振興基金繰入
光熱水費	662,465 円	
警備業務等委託料	567,756 円	
放送器材等賃借料等	375,413 円	
合 計	4,062,462 円	

情報収集・提供

- ㉑ ふるさとづくりに関する情報の提供
- ㉒ ふるさとかわら版の発行と探訪
- ㉓ ふるさと通信会員
- ㉔ 設立 20 周年記念事業

活動支援

- ㉕ 体験活動プログラムの提供
- ㉖ ネットワーク形成イベントの開催

人材育成

- ㉗ 子ども対象の自然体験事業
- ㉘ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携

環境づくり

- ㉙ 他団体との合同事業開催
- ㉚ ふるさとづくり拠点施設の管理・運営

平成26事業年度 周南市市民交流センター 利用実績

月	区 分	講座室	大会議室	小会議室	多目的広場	合 計
4	使用件数(件)	39	46	45	36	166
	入場者数(人)	713	595	361	5,676	7,345
	施設使用料(円)	55,480	53,070	25,790	0	134,340
	冷暖房使用料(円)	1,240	1,040	500	0	2,780
	使用料合計(円)	56,720	54,110	26,290	0	137,120
5	使用件数(件)	44	53	44	37	178
	入場者数(人)	1,180	729	332	5,876	8,117
	施設使用料(円)	75,770	45,690	22,220	0	143,680
	冷暖房使用料(円)	6,420	2,970	720	120	10,230
	使用料合計(円)	82,190	48,660	22,940	120	153,910
6	使用件数(件)	38	51	50	47	186
	入場者数(人)	1,038	661	408	6,136	8,243
	施設使用料(円)	91,690	38,640	25,050	27,110	182,490
	冷暖房使用料(円)	7,440	4,370	2,300	0	14,110
	使用料合計(円)	99,130	43,010	27,350	27,110	196,600
7	使用件数(件)	35	47	50	53	185
	入場者数(人)	1,188	681	434	6,467	8,770
	施設使用料(円)	76,010	31,250	25,710	870	133,840
	冷暖房使用料(円)	9,650	4,030	2,260	240	16,180
	使用料合計(円)	85,660	35,280	27,970	1,110	150,020
8	使用件数(件)	31	48	44	55	178
	入場者数(人)	1,114	553	363	6,281	8,311
	施設使用料(円)	62,340	28,250	21,890	2,180	114,660
	冷暖房使用料(円)	6,410	3,430	2,320	2,670	14,830
	使用料合計(円)	68,750	31,680	24,210	4,850	129,490
9	使用件数(件)	41	48	45	54	188
	入場者数(人)	775	639	395	6,522	8,331
	施設使用料(円)	60,020	45,160	23,730	0	128,910
	冷暖房使用料(円)	7,320	4,110	2,200	180	13,810
	使用料合計(円)	67,340	49,270	25,930	180	142,720
10	使用件数(件)	20	52	56	69	197
	入場者数(人)	521	517	424	7,345	8,807
	施設使用料(円)	34,500	31,900	28,620	0	95,020
	冷暖房使用料(円)	4,090	1,150	1,260	60	6,560
	使用料合計(円)	38,590	33,050	29,880	60	101,580
11	使用件数(件)	30	45	46	55	176
	入場者数(人)	994	751	446	6,595	8,786
	施設使用料(円)	84,820	44,030	28,240	0	157,090
	冷暖房使用料(円)	3,610	1,600	1,400	0	6,610
	使用料合計(円)	88,430	45,630	29,640	0	163,700
12	使用件数(件)	25	40	36	66	167
	入場者数(人)	691	445	373	6,831	8,340
	施設使用料(円)	31,230	34,130	20,830	11,260	97,450
	冷暖房使用料(円)	3,010	3,200	1,460	2,150	9,820
	使用料合計(円)	34,240	37,330	22,290	13,410	107,270
1	使用件数(件)	29	32	41	35	137
	入場者数(人)	583	476	335	5,650	7,044
	施設使用料(円)	33,080	27,100	23,020	0	83,200
	冷暖房使用料(円)	4,190	2,770	1,960	0	8,920
	使用料合計(円)	37,270	29,870	24,980	0	92,120
2	使用件数(件)	26	43	39	26	134
	入場者数(人)	914	620	309	5,200	7,043
	施設使用料(円)	66,390	38,550	24,030	0	128,970
	冷暖房使用料(円)	6,460	3,320	2,080	0	11,860
	使用料合計(円)	72,850	41,870	26,110	0	140,830
3	使用件数(件)					
	入場者数(人)					
	施設使用料(円)					
	冷暖房使用料(円)					
	使用料合計(円)					
合 計	使用件数(件)	358	505	496	533	1,892
	入場者数(人)	9,711	6,667	4,180	68,579	89,137
	施設使用料(円)	671,330	417,770	269,130	41,420	1,399,650
	冷暖房使用料(円)	59,840	31,990	18,460	5,420	115,710
	使用料合計(円)	731,170	449,760	287,590	46,840	1,515,360
前年度	使用件数(件)	433	556	572	570	2,131
	入場者数(人)	10,481	8,308	4,946	73,019	96,754
	使用料(円)	728,030	440,100	265,350	47,050	1,480,530
	冷暖房使用料(円)	56,320	31,440	19,240	2,760	109,760
	使用料合計(円)	784,350	471,540	284,590	49,810	1,590,290

平成26事業年度 周南市大田原自然の家 利用実績

月	区分	学校教育関係				社会教育関係				主催事業	ボランティア	その他	出張指導	合計	使用料 (円)	
		小学校	中学校	その他	計	少年 団体	青年 団体	その他	計							
4	実人数			11	11				0	124	(2)	22	121	121	399	43,320
	延人数			11	11				0	153	(2)	22	207	121	514	
	団体数			1	1				0		4	3	8	2	18	
5	実人数	94			94	35			35	550	(63)	15	98	21	813	29,520
	延人数	188			188	35			35	768	(129)	15	134	21	1,161	
	団体数	5			5	1			1		14	4	6	1	31	
6	実人数	103		19	122	11			11	435	(12)	22	23	120	733	11,360
	延人数	205		19	224	21			21	457	(12)	22	45	120	889	
	団体数	4		1	5	1			1		13	3	2	4	28	
7	実人数			90	90	154			154	415	(24)	31	130	27	847	75,810
	延人数			116	116	217			217	421	(30)	31	353	27	1,165	
	団体数			2	2	5			5		14	5	4	1	31	
8	実人数			13	13	167			167	430	(151)		242		852	93,925
	延人数			13	13	289			289	805	(285)		433		1,540	
	団体数			1	1	6			6		14		12		33	
9	実人数	22		31	53	35			35	239	(9)	20	209	23	579	106,750
	延人数	22		185	207	70			70	239	(9)	20	277	23	836	
	団体数	2		1	3	1			1		6	4	11	1	26	
10	実人数	144		172	316				0	411	(14)	15	220	59	1,021	78,040
	延人数	288		215	503				0	425	(14)	15	337	59	1,339	
	団体数	2		4	6				0		12	3	6	2	29	
11	実人数				0	123			123	476	(39)	11	95	32	737	50,375
	延人数				0	186			186	540	(56)	11	150	32	919	
	団体数				0	3			3		11	2	6	1	23	
12	実人数								0	206	(33)	7	22	66	301	5,020
	延人数								0	300	(57)	7	44	66	417	
	団体数								0		9	1	2	1	13	
1	実人数									151	(41)	5			156	0
	延人数									307	(95)	5			312	
	団体数										6	1			7	
2	実人数									141	(5)	16		53	210	0
	延人数									141	(5)	16		53	210	
	団体数										6	3		1	10	
3	実人数			29	29	36			36	188	(16)		61	207	521	66,725
	延人数			174	174	86			86	316	(40)		90	207	873	
	団体数			1	1	1			1		8		4	2	16	
合 計	実人数	363	0	365	728	561	0	0	561	3,766	(409)	164	1,221	729	7,169	560,845
	延人数	703	0	733	1,436	904	0	0	904	4,872	(734)	164	2,070	729	10,175	
	団体数	13	0	11	24	18	0	0	18		117	29	61	16	265	
前 年 度	実人数	302	40	215	557	861	0	75	936	3,597	(1,124)	144	1,161	643	7,038	605,215
	延人数	578	80	526	1,184	1,387	0	131	1,518	4,863	(1,579)	146	2,018	643	10,372	
	団体数	15	1	7	23	19	0	3	22		109	27	69	11	261	

※主催事業の()の数値は、参加者数のうち主催事業に関わったボランティアの人数

平成26事業年度 周南市向道湖ふれあいの家 利用実績

月		福祉農園	コミュニティ 公共機関等	自主事業	その他	合計	利用日数 開館日数	使用料 (円)	冷暖房料 (円)	計 (円)
4	利用者数	151	514	0	119	784	17	8,390	3,600	11,990
	団体数	6	10	0	5	21	25			
5	利用者数	115	78	0	25	218	12	4,240	0	4,240
	団体数	3	8	0	4	15	27			
6	利用者数	252	31	37	12	332	14	1,180	0	1,180
	団体数	8	5	1	1	15	26			
7	利用者数	143	98	0	47	288	15	8,540	1,040	9,580
	団体数	6	7	0	5	18	26			
8	利用者数	87	19	0	86	192	12	10,510	1,400	11,910
	団体数	4	3	0	6	13	27			
9	利用者数	113	41	0	36	190	13	4,370	1,010	5,380
	団体数	6	4	0	3	13	26			
10	利用者数	75	40	0	18	133	9	2,360	120	2,480
	団体数	3	5	0	2	10	26			
11	利用者数	200	89	0	28	317	16	3,300	1,860	5,160
	団体数	6	9	0	3	18	26			
12	利用者数	27	19	0	12	58	4	2,500	1,500	4,000
	団体数	1	3	0	1	5	24			
1	利用者数	0	118	0	12	130	9	1,180	3,440	4,620
	団体数	0	9	0	1	10	24			
2	利用者数	46	65	0	12	123	8	1,180	2,680	3,860
	団体数	2	9	0	1	12	24			
3	利用者数	88	56	30	24	198	13	3,540	3,080	6,620
	団体数	5	7	1	3	16	27			
合計	利用者数	1,297	1,168	67	431	2,963	142	51,290	19,730	71,020
	団体数	50	79	2	35	166	308			
前年度	利用者数	1,086	1,789	30	444	3,349	158	48,270	21,900	70,170
	団体数	43	106	1	34	184	308			

IV 中山間地域振興プロジェクト

周南市まちづくり総合計画・後期基本計画（平成22年度～26年度）において、中山間地域振興プロジェクトが重点推進プロジェクトに位置付けられている。

ふるさと振興財団としては、周南市コミュニティ推進連絡協議会の事務局を担当していることから、市の計画の「施策の展開」に示されている「地域コミュニティの充実・強化」に重点を置き、各地区コミュニティと連絡等を密にし、さらに周南市大田原自然の家を活用した「多様なツーリズムの促進」、「こあ」における「農林水産物・知恵・技を生かした経済循環づくり」など、財団が管理・運営する公共施設を拠点として、地域活動の支援・情報の収集と発信を行った。

財団が推進する事業のうち、以下のものを中山間地域振興プロジェクトとしても取り組んだ。

ふるさとづくり推進プランⅡ「五感で感じるふるさと周南」 P15

情報収集・提供

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ① コミュニティ情報の提供 | ② 先進地視察 |
| ⑦ 市民活動情報の提供 | ⑪ 地場産品の情報の提供 |
| ⑫ 市内外へ出張による地場産品の普及活動 | ⑰ 地場産品に関する体験講習会の開催 |
| ⑳ ふるさとづくり情報の提供 | ㉒ かわら版の発行と探訪 |
| ㉓ ふるさと通信会員 | |

活動支援

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ③ 特色あるコミュニティ活動への支援 | ㉓ コミュニティコーディネーター事業 |
| ⑧ 特色ある市民活動への支援 | ⑭ ふるさと朝市・夕市及び普及イベントの支援 |
| ⑩ 食育体験プログラムの提供 | ㉔ 体験活動プログラムの提供 |
| ㉖ ネットワーク形成イベントの開催 | |

人材育成

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ④ ふるさと応援隊の支援・推進 | ⑤ コミュニティアクションリーダー養成講座 |
| ⑮ 食農ボランティア活動の支援 | ⑲ 子ども・家族対象の食農・食育活動 |
| ㉗ 子ども対象の自然体験事業 | ㉘ ボランティアと指導者の育成・支援及び連携 |

環境づくり

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| ⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営 | ㉓ 地域間ネットワーク形成事業 |
| ⑯ 地場産品推進拠点施設の運営 | ㉔ 食農・食育体験農園の管理 |
| ㉙ ふるさとづくり拠点施設の管理・運営 | |

V 庶務事項

1. 組織

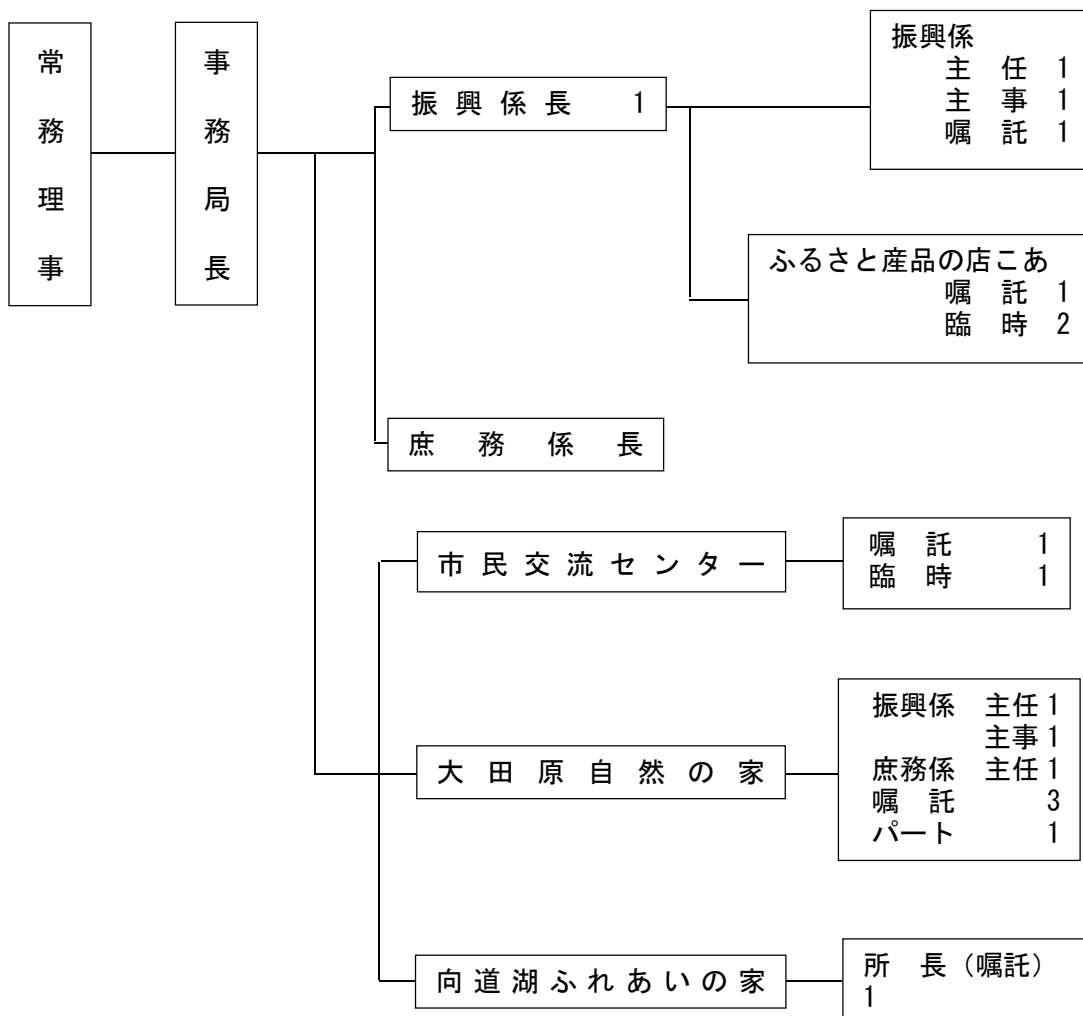
(1) 理事及び監事

役職	氏名	就任年月日	退任年月日
理事長	木村健一郎	平成26年6月13日	
副理事長	小田敏雄	平成26年6月21日	
常務理事	市川琢治	平成26年6月13日	平成27年3月31日
理事	村田正樹	平成26年6月27日	平成26年5月21日
	宮本治郎	平成24年4月1日	
	吉谷川亮	平成26年6月23日	
	澤田小恵子	平成26年6月22日	
	山田新悟	平成24年4月1日	
	河村保彦	平成26年6月25日	平成26年5月21日
	守田平人	平成26年6月21日	
	松田富雄	平成26年6月23日	
	船崎美智子	平成26年6月23日	
	村川哲夫	平成26年6月20日	
	福原和子	平成26年6月23日	
監事	小林高志	平成26年6月19日	
	西田了	平成26年6月23日	
	池部博正	平成26年6月24日	

(2) 評議員

役職	氏名	就任年月日	退任年月日
評議員	梶山正一	平成25年4月1日	
	岡本修二	〃	
	堀本明	〃	
	宮崎隆	〃	
	竹島弘	〃	
	原田栄造	〃	
	秋貞啓子	〃	
	今田篤	〃	
	中村秀昭	〃	
	有吉一男	平成25年6月25日	

(3) 事業推進体制



2. 会議の開催

(1) 理事会

回	開催年月日・会場	議案
1	平成 26 年 5 月 28 日 周南市市民交流センター	① 平成 25 事業年度事業報告及び計算書類の承認について ② 平成 26 事業年度補正予算について ③ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
2	平成 26 年 6 月 27 日 決議の省略	① 理事長（代表理事）、副理事長、常務理事（業務執行理事）の選定について
3	平成 27 年 2 月 16 日 周南市市民交流センター	① 平成 26 事業年度補正予算について ② 平成 27 事業年度事業計画書及び収支予算書等について ③ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
4	平成 27 年 3 月 27 日 決議の省略	① 常務理事（業務執行理事）の選定について ② 事務局長の任命について

(2) 評議員会

回	開催年月日・会場	議 案
1	平成 26 年 6 月 12 日 周南市市民交流センター	① 平成 25 事業年度事業報告及び計算書類の承認について ② 平成 26 事業年度補正予算について ③ 役員の選任について
2	平成 27 年 3 月 5 日 周南市市民交流センター	① 平成 26 事業年度補正予算について ② 平成 27 事業年度事業計画書及び収支予算書等について ③ 定款の変更について ④ 役員の選任について

3. 登記及び届出

(1) 登記

登記年月日	登 記 事 項	申 請 先
平成 26 年 7 月 9 日	理事・監事の退任、就任	山口地方法務局

(2) 行政庁への届け出、申請

年 月 日	届 け 出 ・ 申 請 事 項
平成 26 年 6 月 27 日	事業報告書等の提出
平成 26 年 7 月 23 日	変更届出書（理事の変更）
平成 27 年 3 月 27 日	事業計画書等の提出

附属明細書

平成 26 事業年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。